

高畠町地域クラブ活動検討委員会の中間報告

0. 国・県の方針

- (1) 国の方針 ○令和4年12月：スポーツ庁・文化庁がガイドラインを公表
『令和5～7年度までの3年間で「改革推進期間」とし、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す』
- (2) 県の方針 ○令和5年 3月：県教育庁がガイドラインを公表
『令和8年度から、部活動は平日のみとし、休日は原則行わない』

1. 概 要

地域におけるスポーツ及び文化的活動の環境を整備し、子供たちがそれぞれに適した環境でこれらの活動に親しめる社会を構築することを目的として、地域における活動について必要な調査及び検討を行うため、高畠町地域クラブ活動検討委員会を設置し検討を行っている。

2. 委員 及び 事務局員について

- (1) 委 員 スポーツ協会・スポーツ少年団・スポーツ推進員・芸術文化協会
PTA 連合会・連合校長会・部活動顧問・公民館 計18名
- (2) 事務局員 教育委員会（教育総務課・社会教育課） 計8名

3. 検討状況について

(1) 検討委員会

○ 5月 第1回

〔①委員委嘱 ②国・県の方針、検討委員会の説明 ③アンケートの検討〕

○ 12月 第2回

〔①視察研修の報告 ②3つのモデル《案》の説明 ③ワークショップ〕

【共通の課題】 指導者確保、保護者負担、顧問との連携、送迎手段など

※ 3つのモデル

《案①》すべての種目に部活動指導員を配置

【課題】指導員報酬による財源確保が困難（負担大）、指導員の確保

《案②》スポーツ少年団＋クラブへ移行

【課題】スポーツ少年団への受け皿可能か。登録外種目への対応。

《案③》高島町地域クラブ〔たかはたモデル（仮）〕 4ページ参照

【課題】事務局の設置、担う業務、運営管理

《案①》は、高島中すべての種目に指導員を1.5人ずつ配置すると年間約1,000万円かかる。また、その指導者を学校・事務局が探すことは負担大。

《案②》は、スポ少の指導者にこれまでの顧問の指導をそのままお願いはできない。また、種目によっては、小中学生が同じ道具・設備での活動が困難な場合もある。さらに、平日と休日の活動の指導方針等の連携が難しい場合が多々ある。よって、《案③》をベースに検討を進めることとした。

○ 2月 第3回

〔①グループワーク ②保護者周知、理解の方向性 ③モデル種目の抽出〕

(2) 検討委員会の中間まとめ

○意識調査（アンケート）や先進地視察、研修会を通して、部活動改革に関する理解と休日に地域スポーツ・文化活動を実施する上での課題とその解決策を探った。

○3（1）の【共通課題】を可能な限り対応できる方法として、地域クラブ〔たかはたモデル（仮）〕の体制構築に向けた検討を行った。

(3) 来年度に向けて

○R8から土日に部活動を原則行なわなくなることを周知したうえで、地域クラブ化への理解と説明、実証事業を進める。

- ・保護者への説明
- ・指導者協議会などとの意見交換と意向調査
- ・地域クラブモデルの実証

5. その他の実施事業について

(1) 意識調査アンケート

- ・調査期間：10月10日（火）～22日（日）
- ・対象：児童生徒（中1・2、小5・6）、保護者（中1・2、小4～6）、

小中教職員

- ・回答率：66.05%〔対象者数 1,932名 回答者数 1,276名〕

(2) 視察研修

- ・期日場所：10月26日(木) 岐阜県白川町(一社) スポーツリンク白川
27日(金) 愛知県大口町

(3) 研修会

- ・期 日： 1月28日(日) 10時～12時
- ・講 師：(一社) スポーツリンク白川 クラブマネージャー 渡辺 靖代 氏
- ・演 題：「どうなるの？私たちの部活動」
- ・参加者：約80名

【ロードマップ（R5.12月改）】

《令和5年度》 《令和6年度》

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	◇第3回委員会		◇第4回委員会						◇第5回委員会		
	・体制づくり		・モデル部 決定						・モデル部の 経過報告		
	◆研修会実施								・次年度の実施 に向けて準備		
	◆随時、幅広く説明会を実施										
	◆町HP等での広報活動										
	★地域クラブ活動規約等の作成										

・新チームのスタートから、モデル部活動で実施（8～9月頃）

《令和6年度の予定（計画）》

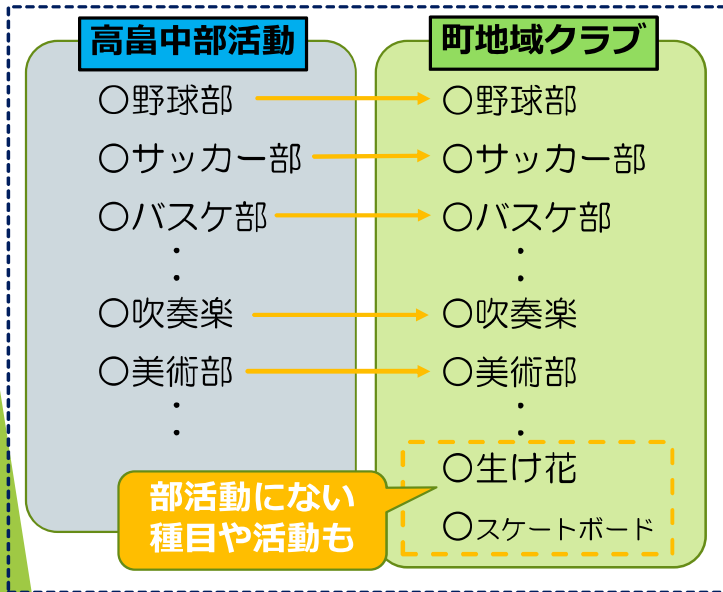
- ・3回実施（5月、10月、2月）
- ・モデル部での実施を踏まえ、情報収集。
- ・R7の実施に向けて、予算等の計画（実施計画）
- ・2年間の検討委員会のまとめと報告。

《令和7年度》

地域クラブ活動
開始

《案③》高畠町地域クラブ〔たかはたモデル〕

(1) 構 想



《部活動》《町地域クラブ》 ～17時 17時～ 19時

月	活動なし	
火	1H練習	2H練習
水	1H練習	週2回の活動 平日の合計8H
木	1H練習	
金	1H練習	2H練習

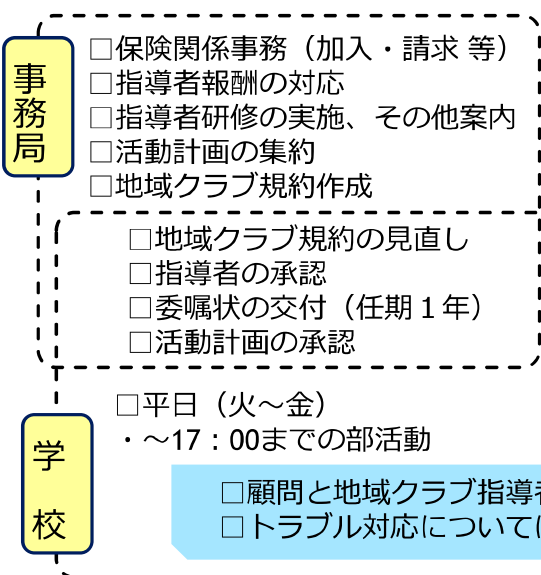
《町地域クラブ》

土 日	土日どちらかの活動 基本的に3H
--------	---------------------

《案③》高畠町地域クラブ〔たかはたモデル〕

- ・R6の『事務局』は検討委員会事務局で対応
- ・R7以降は要検討

高畠町地域クラブ



【○○種目】※ 保護者会で対応

【○○種目】※ 保護者会で対応

【○○種目】※ 保護者会で対応

【○○種目】※ 保護者会で対応

【○○種目】※ 保護者会で対応

- 指導者の選定・依頼 ⇒ 事務局・学校へ推薦
- ・任期は1年（8月～翌年7月）
- 活動計画書（毎月）の作成
⇒ 事務局・学校へ共有
- ・練習試合については顧問と相談
- 平日活動の、指導者不在時の見守り

- 顧問と地域クラブ指導者で〔活動方針〕を作成（8月、4月）
- トラブル対応については指導者、保護者会、学校が連携

◇部活動改革に関する意向調査アンケート結果より抜粋【参考】

【小学生】

●中学校で部活動を行うか

入る：72% わからない 21% 入らない 3% クラブへ 4%

●入部の目的

体力技術の向上 28% 友達と活動を楽しみたい 27%

良い成績を上げたい 16% 協調性やチームワークを深めたい 13% その他 16%

●希望種目は

スポーツ（団体競技系）27% スポーツ（個人競技系）35% 吹奏楽 6%

その他文化 12% わからない 20%

∴入学前の子供たちは、今後を見据えた意見がしっかり示せないものの、部活動を中学生活の一つとしてとらえる児童が多く、活動を機に友達との交流や体力向上を期待している。

●休日の活動に参加したいか

参加したい 60% したくない 27% どちらでもない 13%

●どのような活動に参加したいか

部活動と同じもの 63% ちがうもの 12% 複数したい 22% その他 3%

∴休日における活動については、継続的活動を考えている児童が6割いるが、逆に休日を利用して、いろいろなことに取り組みたいという考え方も出ている。

●指導者について

部活と同じ指導者 36%、経験のある地域指導者 24%、有資格指導者 36%

∴継続の有無にかかわらず、同一または専門的指導者であった方が好ましいとの見方が多い。

●学校外で活動をしているか

している 51% していない 49%

∴スポ少のほか、スイミングスクール、塾やピアノ、書道などの習い事、太鼓や演劇など文化芸能活動と学校外での活動は多岐にわたっている。

【中学生】

●部活動加入状況

運動部：67%、文化部 24%、外部クラブほか 7%、未加入 2%

●入部の目的

体力技術の向上 22% 友達と活動を楽しみたい 25% 良い成績を上げたい 20%
協調性やチームワークを深めたい 14% 進学に有利 10%

∴現在、7割近い生徒が部活動は中学生生活の一つとしてとらえ、活動を機に友達との交流や体力向上を図っている。また、活動が進路における必須アイテムとしてとらえられている一面がある。

●休日の活動に参加したいか

参加したい 38% したくない 41% どちらでもない 21%

●どのような活動に参加したいか

部活動と同じもの 75% ちがうもの 7% 複数したい 15%

∴7割を超える生徒が、現在行っている活動をより高めたい意向があらわれているが、休日活動には、消極的な意見も多い。また、休日を機にいろいろな活動を取り組んだりしたいとの考えも出ている。

●指導者について

部活と同じ指導者 46%、経験のある地域指導者 30%、有資格指導者 21%

●指導者に対する期待

わかりやすさ 29% 専門的技術 17% 効率的指導 14% 親近感 25% 同一指導者 7%
有資格 4% 特になし 5% その他 1%

∴専門的知識を有することも必要だが、厳しさよりも子どもたちと親近感を持ってわかりやすく指導してくれる指導者が期待されている。

●校外活動をしているか

している 38% していない 62%

●学校外で活動する理由

専門的指導 32% 活動のレベル 21% 学校にない活動 14% 他校生との交流 14%
他にやりたいこと 6% その他 13%

∴より高みを目指す人がクラブ等で活動したり、学校にない活動などへ取り組むなど自主的な展開を図っている。